

千葉大学医学部附属病院眼科へ通院された 網膜色素変性患者の皆様、ご家族の皆様へ

2024年5月1日

眼科

眼科では、「光干渉断層計による網膜色素変性の眼球形態解析」に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2019年4月1日～2022年12月31日の間に眼科を受診し網膜色素変性と診断された方

1. 研究課題名

「光干渉断層計による網膜色素変性の眼球形態解析」

2. 研究期間

2024年承認日～2025年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院 観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

網膜色素変性は遺伝性かつ進行性の網膜変性疾患であり、いまだ有効な治療法は確立していません。光干渉断層計は、眼の中の光の反射を応用して、網膜の断層像を3次的に観察する装置であり、日常診療において頻繁に用いられています。網膜色素変性の患者様に対し光干渉断層計を撮影し、眼球形態および構造解析を行う事により、病態解明や、治療法の開発に役立つ情報を集めさせていただきます。本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究IDに置き換えた情報を用いて千葉大学医学部眼科研究室にて解析を行います。氏名等と研究IDとの対応表は外部には提供されません。

4. 研究に用いる情報の種類

診療録に記載されている視力、屈折、眼軸長（目の長さ）、病歴、診察時に撮影された光干渉断層計像、視野検査

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：眼科 教授 馬場 隆之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部眼科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

眼科 馬場 隆之

043（222）7171 内線5325